

旧岡山県農学校 現高松農業高校地域向け情報誌

# 備中高松城下町かわら版

http://www.takano.okayama-c.ed.jp/

第 2 号

平成 16 年 10 月 15 日

発行元  
岡山県立  
高松農業高校  
tel  
086-287-3711  
fax  
086-287-3713



創刊号でお知らせしたスイゲンゼニタナゴ(オス)の写真。本校で誕生後約1ヶ月の頃。体長約5mm程度。この写真は本校・農業経済科・村岡一彦教諭が撮影したものです。

## 【朝礼台】「活気あふれる楽しい学校づくり」を目指して

私は、年度始めに当たり、「活気あふれる楽しい学校づくり」を大きな目標に掲げました。よい学校とは、先生も生徒も目的を持って生き生きと活動している学校です。

生徒一人ひとりが、高い目標を掲げ、やる気を燃やして目的達成に努力している、そういう学校にしたいという願いを託し、生徒達には大きな三つの目標を掲げました。

- 一 授業を真剣に受けること。
- 二 何かに挑戦しよう。
- 三 豊かな心を持とう。

また、そのために、先生方には、分かる授業づくりのための教材研究、きめ細かな指導、温かく人間味豊かな関わりを持つことをお願いしております。

地域・学校・保護者が一体となって、生徒達が豊かに逞しく生きるよう援助していきたいと考えていますので、御協力、御支援をよろしくお願いいたします。  
(岡山県立高松農業高等学校第二十七代校長・渡邊領治)

## 【雷】町の人の高農生に対する叱咤

信号無視はいけんなあ。でも、最近では登下校の様子が大分良くなったなあ。国道を赤信号で渡る生徒さんが以前に比べていなくなつたなあ。大多数は信号を守っている感じがするなあ。でも、やっぱり、一人でも事故になつたら大変じゃからなあ。

高松・男性・六十九歳

## 【木枯らし】高農の生徒の悲しい場面。

今度も該当事項なし。ですが、あと一月もすれば本場の木枯らしが吹きます。

## 【木漏れ日】高農生のホットする良い話。

オータムコンサートで吹奏楽部の演奏を聴いたけど、上手になつたなあ。それとみんな楽しそつた。高松・女性・三十五歳  
生徒の皆さん、感じがいいよ。服装もものすごく良くなつている。

高松・女性・六十九歳

## 【せせらぎ】高農生の美しい行動など。

悪い格好をした生徒が、今年は何目につかないなあ。生徒さんが落ち着いて評判がいいよ。  
高松・女性・六十九歳  
テニスコートの側を通ると生徒さんが素直に元気に頑張っているのは気持ちがいいですね。  
高松・女性・五十五歳  
服装も良くなつたが髪も黒くきれいな人が多くなつたなあ。高松・男性・四十六歳

## 【歓声】学校行事・授業など学校生活のこと。

園芸福祉土養基礎講座が十月十六日(土)を第一回として、十七日(日)・十一月二十七日(土)・二十八日(日)の計4回開かれます。これについては受講費用三万五千元と高額なため関係農業高校を通じて募集し、もうすでに締め切りましたが、また、興味のある方は本校の園芸科学科長三宅までお問い合わせください。

## 【放課後】生徒の部活動・課外活動のこと

ラグビー部・第3回中四国高等学校十人制ラグビーフットボール交流大会(広島県総合グラウンド)に岡山県代表として出場。交流試合ではあるが、福山盈進高校に二十四対0で勝ち、広島・三次青陵・松永・久井合同チームにも勝利。愛媛県の新居浜合同チームに敗れるも、決勝トーナメントで第2位となる。花園へまた一歩近付く。  
射撃部・ライフル射撃 JOCジュニアオリンピックカップジュニア選手権(九月二十五日・埼玉県国際学院高体育館) 男子エアライフル立射(六十発、決勝十発)で石坂真一君(生物工学科3年)が、第三位となる。また、以前にもお知らせしましたように、石坂真一君、千丸泰弘君(ともに生物工学科3年)が埼玉国体へ出場。  
射撃部・九月十八日・岡山県営武道館で開かれた全日本社会人選手権・ビームライフル・少年立射(四十発、決勝十発)で、藤田静香さん(畜産科学科2年)が第2位  
レスリング部・工藤祐土教諭と高林努君(農業土木科3年)と川角直哉君(農業経済科3年)が、今月十月二十三日に開幕する埼玉国体秋季大会にそろって出場する。

## 【職員室】

九月二十三日、倉敷芸文館で開かれた「晴れの国おかやま国体・輝いて！おかやま大会」第3回くらしき市民運動推進大会に、本校工藤教諭も、山口衛里(天満屋陸上部)と、国体の市民運動や競技のPR・大会に向けた意気込み込みなどトークで参加。

## 【農場】ニユース

収穫間近 本校の稲の品種はアケボノとヒノヒカリ・来週明けから稲刈り予定  
今期2作目のメロン収穫間近。  
農場生産物を9月から味彩館地産地消コーナーで販売させてもらっています。約一ヶ月たちましたが、おかげさまで好評であります。九月十八日第3回おからく津山支所乳牛共進会・畜産科学科十名参加・酪農の本場で勉強してきました。  
九月二十五日第3回おからく備前地区乳牛共進会に畜産科学科十九名が参加・8頭参加したうち、タカノウ・チャアリー・シャイン・ストームが第一部(未經産牛一歳未満)でチャンピオンに、十月十日の久世町である県大会へ出場。その他4頭が入賞。



## 【陽光】新技術紹介 本校畜産科学科の卵は

確かな技術で生産されています。  
その秘密(技術)とは  
その1 餌が違います。ヒタミン・ミネラルがたっぷり含まれた緑餌を与えています。  
その2 環境が違います。鶏のストレスを最小限にするために、スペースを広く取つた明るく通気性のよい鶏舎で飼育しています。  
その3 生徒達が毎日一生懸命育てた鶏(ポリス・ブラウン)が産んでくれる卵です。一つ一つ丁寧に集めて販売しています。お求めの場合は直接、本校農場へお越し下さい。

## 【あぜみち】季節の歳時記等 今回休み

## 【ホームルーム】

この歴史的な年の十月に小誌と言えども触れない訳にはいかない。日頃、西海岸のチームには関心のないニューヨーク・タイムズもこればかりは大きなエールを送つたという。イチローと呼ぶほど親しくはないが、私たちがエールを送る。たとえ、彼の耳に届かなくても。